

# 学校力向上プラン【学校評価書】

<b>中学校区におけるめざす子ども像</b> ○豊かな心で人と協力し、将来の夢の実現に向けて努力する。	
<b>令和6年度 重点目標</b> ◎つかえる学力の育成 基礎となる知識技能を身に付けて、それらを活用できる子どもを育てる。◎望ましい人間性の育成 正しい人権感覚と知識をもって、正しく判断行動できる子どもに育てる。◎体力の育成・心身の健康 体力向上に向けてがんばり、心身とも健康な子どもに育てる。	
<b>「確かな学び」の現状</b> 教師の指導を素直に受け止め、前向きに取り組む児童がほとんどであり、学校全体としては学習規律や静謐な学習環境が維持されているものの、一部で課題も見受けられる。学校アンケートの「家庭で自分からすすんで学習に取り組んでいると思う。」の項目では、全体で約6割程度が意欲的に取り組んでおり、R4年度より少し上回った。また、「よく読書をしている。」の項目では、肯定的回答が5割にとどまっており、取組みの継続や工夫が必要である。一方「授業がわかりやすい」の項目では、9割以上の児童が肯定的回答であり、特に ICT を効果的に活用した授業に楽しく取り組む様子がうかがえた。今年度の授業では、「子どもが自分の思いや考えを伝える」場面をたくさん設定し、どの児童も主体的に学習に取り組む学びを深めていけるよう、授業改善に取り組んでいく。	<b>「豊かな心・健やかな体」の現状</b> 本校の子どもたちは、あいさつ実施率は昨年度かなり向上した。学校へ楽しく通学できている児童が多いが、友達関係や学習面でのトラブルに悩む児童も一定数いることがアンケートや教育相談の結果から見えている。外国籍の児童の割合が他校に比べて高いが、縦割り活動などを通して子どもたちは違和感なく接し合いを尊重して協力できている。今後も学校全体でいじめ防止への取組や人権教育・国際理解教育をさらにすすめていきたい。 また、体力づくりにおいては、ポイントをしぼり実践したことで体力テストの大半の項目で堺市の平均値を上回ることができた。さらなる体力向上に向けて全般的な取組みを実施し、体育の授業や行事の中で継続的に体力づくりを行っていく。また SNS やゲームによる影響が少なくない昨今、生活習慣や相手を思いやる心など健全な心身の育成が課題となっている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	教科学力	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る 学習習慣(規律)を身につける	●指導を通して学びの現状をチェックしながら、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。	国語・算数の知識・技能(基礎問題)の理解度が、全児童において6割とれる児童が90%以上	確認プリント 実践報告	年度末	○ おおむね達成している。	○ おおむね目標を達成することができた。(国語科では85%、算数科では90%) 国語科の漢字を書くことについて、目標を下回っている児童が多いため、今後も取り組みを進める。	△ 国語が意外と低かったため、その理由の分析と取り組みを進めてほしい。
			家庭学習の充実を図るために、自主学習ノートや宿題に進んで取り組ませる。	「週一回以上は自主学習に取り組んでいる」という児童の肯定的評価80%以上	学校アンケート・実践報告	年度末	○ 各学年で、自主学習を宿題として取り組み続けている。	○ 週一回以上は自主学習に取り組むことができた。「家で自分から進んで学習に取り組んでいる」のアンケート項目では肯定評価が79%となったので、来年度は自分から進んで学習できる取り組みを行いたい。	○ 自主学習の取り組みについては、家庭も連携して声かけをしていきたい。
			「読む」習慣をつけるために、読書タイムの充実を図るとともに、家庭学習でも読書に取り組ませる。	「週三回以上は読書をしている」という児童の肯定的評価80%程度	学校アンケート・実践報告	年度末	○ 朝の読書タイムや各学年の図書室の時間を使いながら取り組んでいる。	○ 児童の肯定評価が80%近くなり、目標を上回ることができた。朝の時間に読書タイムを設定して取り組んでいるため、今後も継続して取り組んでいきたい。	○ 字を「読む」ことが全ての基礎になるので、読書は大事にしてほしい。
豊かな心	授業改善	学級の児童の実態を把握し、それに 応じ、望ましい授業を実施する	★学びあいのルールを定着させる。 学級の児童の実態に沿ったユニバーサルデザインに基づく授業改善を実施する。	「授業がわかりやすい」という児童の肯定的評価80%程度	学校アンケート・実践報告	年度末	○ 学級の児童の実態に沿った授業づくりを進めている。	○ 肯定評価が90%近くなり、目標を上回ることができた。「子どもが自分の考えや思いを伝える」ため、ICTの活用や子ども同士を繋ぐ教師の支援などを取り入れた授業改善を今後も継続してきたい。	○ アンケート結果から授業づくりの成果がうかがえる。
			●校内において、ICTを活用した授業づくりに取り組む、情報活用能力の向上を図る。 ●端末の持ち帰り時などにドリルマークの活用をすすめる。 ●児童用パソコンを活用した授業を毎日1時間以上おこなう。 ●全教員の授業力(教科指導力)の向上のために、公開授業を行う。	桃小版児童用PCの活用に向けた「スキル」と「モラル」の系統指導表を活用し、2年生がステップ1で、4年生がステップ2で、6年生がステップ3で肯定的評価を7割とれる児童が70%以上を目指す。 全教員が公開授業を実施している	アンケート・実践報告 実践報告	年度末 毎学期	○ ICTを活用した授業づくりを進めている。また「桃小タイピングチャレンジ」を実施し、ランキング発表をおこなった。 ○ 順に公開授業・研究授業を実施している。	○ PCの子ども達の活用能力については、積極的に活用できていると思う。低学年の子どももPCに親しみ活用できているようだ。公開授業や研究授業は計画通り実施されている。	
			自ら状況を判断し、的確なあいさつができる子の育成	「あいさつを正しく行っていると思う。」という児童の肯定的評価80%以上	学校アンケート・実践報告	年度末	○ 二学期の生活目標「あいさつをしよう」を全体に広めている。	○ 学校アンケート「あいさつを正しく行っていると思う。」の項目で肯定評価85%と目標を達成することができた。今後も継続的な指導を続けていきたい。	○ あいさつは大事なことで、元気にあいさつをしてほしい。中学生の方が返事が返ってくる率も高く元気もいい。
豊かな心・健やかな体	豊かな心	コミュニケーション力を育てながら、なかまづくりを進める 人権と道徳教育の効果的な推進	いじめ防止に関する授業を全学級が行う。また授業を行った際には必ずHPに授業の様子を載せる。	全学級がいじめ防止に関する授業を行っている。	実践報告	年度末	○ 生活アンケートを学期一回行い、いじめの早期発見・解決をめざしている。また全学級がいじめ防止に関する授業を行っている。	○ 学期一回の生活アンケート、いじめ防止授業(出前授業を含む)などにより、いじめ防止をすすめてきた。保護者アンケートの結果から、「わからない」と回答が多かったため、取り組みのよう伝えようと考えていきたい。	○ 本校のいじめの発生状況やその対応、組織としての情報共有について伝わった。保護者としては具体的どのような取り組みを行っているかは見えにくいのでありがたい。
			相手の考えを聞き、自分の考えを広げることができる 正しい人権感覚を身に着け、正しく判断・行動ができる	人権と道徳教育の年間指導計画に基づき実施。適切で効果的な指導を行っている	実践報告	毎学期	○ 人権教育・道徳教育ともに指導計画にもとづき実施している。もちあじを大切に授業を全学年で実施し、取り組みを進めている。	○ 人権や道徳教育を計画し、学習することができた。授業時間だけでなく、生活場面での子どもたちの姿も含めて今後も見守り、必要に応じて指導・支援していきたい。	○ 道徳の授業を保護者参観で行っているのを見ることができた。
			運動量を増やす体育授業の見直し・工夫	新体力テスト半分の項目で堺市平均以上をめざす(体育カードや授業でのICT有効活用など)	実践報告	年度末	○ 新体力テスト半分以上の項目で堺市平均以上を達成した。	○ 新体力テストでは半分以上の項目で堺市平均を上回った。今後も体育指導の充実が努力がたい。学校全体として共通のなわとびカード、かけ足カードに取り組む、休み時間も取り組みを実施でき、積極的に参加する姿勢が見られた。食育や保健指導についても計画どおりに実施できた。	○ 体力テストの結果を学校保健給食委員会で見せてもらった。コロナ禍を経て、体力が戻ってきていることはいいことである。学校として様々な取り組みや活動を実施していることが伝わった。
健やかな体	健康の保持増進のための、健やかなからだづくりの指導	計画的で継続的な体力づくりの実施	学級でのなわとびチャレンジ、体育大会、水泳指導、サーキットトレーニング、マラソンなど計画的な体力づくり	チェックカード・実践報告	毎学期	○ 1学期に体育大会、水泳指導は無事に終了した。今後の計画も提案済、実施予定である。	○ 食育や保健指導についても計画どおりに実施できた。	○ 食育や保健指導も実施されている。	
		歯磨き指導、食育の推進、命の授業	歯磨き指導、出前授業など	実践報告	年度末	○ 各学年、順に指導・出前授業を実施している。			
		学校外の人材や校外学習、地域行事等を積極的に活用して、社会の一員として生きぬく力を育てる。 堺版コミュニティスクールを推進する。	校外学習の精選と地域との交流活動を全学年で実施する。 コミュニティスクール推進会議を年1回実施する。	実践報告	年度末	○ 地域との交流活動を調整計画している。。1学期にコミュニティスクール推進会議を行った。	○ 6月にコミュニティスクール推進会議を開催し、全学年で地域交流活動を実施できた。また地域行事への参加の呼びかけや学校行事への地域の方の招待などを行い、連携を深めた。	○ 引き続き地域、家庭、学校と連携して取り組みを進めていきたい。防災の出前授業の時間拡充や、実施時期の分散や実施案の引継ぎを学校と行っていきたい。	
地域協働	信頼される学校	ホームページ、校報、学年通信等を通して、学校の情報発信に努める。 学校アンケート(保護者用)による教育活動の検証と改善	ホームページ、校報、学年通信等 学校アンケートにおいて「学校は地域・保護者の願いに応えている」の肯定率90%以上	実践報告・学校アンケート	年度末	○ ホームページを定期的に更新している。2学期学校アンケート実施予定。	○ 「分からない」の回答を除いた肯定率は87%。地域や保護者の願いに応えている」は92%であった。	○ 地域で子どもを見守る取り組みなどを今後も学校と協力して行っていく。	

**校長より(年度末)**  
 学習においてはICTを活用した授業改善と高学年専科指導の丁寧な指導により成果はあったものの、漢字の習得に課題が見られた。また朝の読書タイムや各種委員会の取組みで読書量が増え、体力向上も実現できた。次年度も引き続き、不登校支援やいじめ防止の啓発など児童が安心できる学校づくりに努めるとともに、地域の見守り隊の方へのあいさつ推進など地域から愛され信頼される学校を実現していきたい。

**学校関係者評価者から(年度末)**  
 児童用PCの活用は効果的に進んでいると思う。読書の推進については一定の成果が感じられるので今後も活字にふれ語彙をふやす機会としてしっかり取り組んでほしい。学校の働き方改革に協力しながら、児童や保護者を含めた地域行事との連携や交流もすすめていけたらいいと思う。児童が外でしっかり遊び体力を向上させられるように今後も取り組んでもらいたい。